

神戸市人と猫との共生推進協議会 第3回定例会議

1. 日 時：平成31年3月15日（金）14：00～16：00

2. 場 所：神戸市勤労会館4階講習室403

3. 出席者：（別紙資料1）

4. 議 事

【報告事項】

(1) 事業部会開催状況・・・P2～3

(2) 野良猫の繁殖制限事業の実施状況（31年2月末時点）・・・P4～5

(3) 猫の譲渡の推進事業の実施状況・・・P6

(4) 各種イベント参加状況

① LUCKY CAT PROJECT（協議会共催、神戸市後援）

② 人と猫の共生に係るパネル展（神戸市、協議会共催）

③ ネコ市ネコ座（フェリシモ猫部主催、ネスレピュリナペットケアメインスポンサー、協議会ブース参加）

④ 映画「ねことじいちゃん」（2月22日封切）ポスター広告

(5) TNR実務者研修

① 人と動物の共通感染症について

② 動物福祉の観点より犬・猫の正しい飼い方

③ 動物行動学の観点より猫の生態を知る

(6) 寄付・募金・・・P7

平成31年2月末現在 3,036,941円

(7) 神戸市人と猫との共生ガイドライン（別紙資料2）

【協議事項】

(1) 平成31年度事業計画案・・・P8～9

(2) 平成31年度予算案・・・P10

平成30年度決算見込（参考）・・・P11

【連絡事項】

(1) 神戸市より（条例の取組み等）・・・P12

(2) 出席者より

神戸市人と猫との共生推進協議会事業部会開催状況

1. 第1回

日時：平成30年4月24日（火）14：00～

場所：神戸市役所生活衛生課

議事：支援申込6件、情報提供1件について支援決定、TNR検証アンケート案の検討ほか

2. 第2回

日時：平成30年5月29日（火）14：00～

場所：神戸市役所生活衛生課

議事：支援申込7件、情報提供1件について支援決定、動物管理センター手術室の運用の検討、TNR周知チラシの検討ほか

3. 第3回

日時：平成30年6月26日（火）14：00～

場所：神戸市役所生活衛生課

議事：支援申込3件支援決定ほか

4. 第4回

日時：平成30年7月24日（火）14：00～

場所：神戸市役所生活衛生課

議事：支援申込8件支援決定、TNR検証アンケート集計報告、TNR実務者研修の検討ほか

5. 第5回

日時：平成30年8月27日（火）14：00～

場所：神戸市役所生活衛生課

議事：支援申込19件支援決定、人と猫との共生ガイドライン案検討ほか

6. 第6回

日時：平成30年9月25日（火）14：00～

場所：神戸市役所生活衛生課

議事：支援申込8件支援決定、猫引取りピーター対策、街頭募金の検討ほか

7. 第7回

日時：平成30年10月23日（火）14：00～

場所：神戸市役所生活衛生課

議事：支援申込4件支援決定、研修会の検討ほか

8. 第8回

日時：平成30年11月27日（火）14：00～

場所：神戸市役所生活衛生課

議事：支援申込16件支援決定、ガイドライン案の意見交換ほか

9. 第9回

日時：平成30年12月18日（火）14：00～

場所：神戸市役所生活衛生課

議事：支援申込5件支援決定、研修会の検討ほか

10. 第10回

日時：平成31年1月22日（火）14：00～

場所：神戸市役所生活衛生課

議事：支援申込17件支援決定、各種イベント参加内容の検討ほか

11. 第11回

日時：平成31年2月26日（火）14：00～

場所：神戸市役所生活衛生課

議事：支援申込13件支援決定、ガイドライン意見に対する回答検討ほか

12. 第12回（予定）

日時：平成31年3月27日（水）14：00～

場所：神戸市役所生活衛生課

議事：支援申込の支援決定協議ほか

平成 30 年度 野良猫繁殖制限事業実施状況

平成 31 年 2 月末現在

1. 寄せられた野良猫繁殖制限の要望数

①地域猫等の支援申込件数

区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計
支援申請	4	2	10	10	19	29	12	12	13	111 件
手術対象数	19	6	83	55	134	302	160	159	137	1055 匹

②野良猫の多い地域に関する情報提供件数

区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計
情報件数	12	6	10	10	10	21	11	12	2	94 件

※支援と重複 22 件

2. 対策区域の選定状況

①地域猫等の支援申込分

区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計
支援件数	3	1	5	7	11	23	10	9	10	79 件
手術対象数	16	5	35	49	71	271	135	108	121	811 匹

②野良猫の多い地域に関する情報提供分

区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計
支援件数	4	1	2	3	3	13	6	2	1	35 件

※支援と重複 17 件

3. 野良猫繁殖制限事業による手術匹数

①月別、雌雄別

月	雄	雌	合計
30.4月	62	84	146
5月	90	69	159
6月	38	66	104
7月	37	24	61
8月	28	28	56
9月	72	74	146
10月	103	136	239
11月	88	93	181
12月	110	133	243
31.1月	33	30	63
2月	129	111	240
計	790	848	1638

②区別

東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西
74	0	96	134	165	280	213	286	390

協議会 HP 掲載譲渡団体の譲渡数

順不同

No.	団体名	譲渡数	
		29 年度	30 年度（1 月末）
1	猫のミーナ	203	198
2	伊川谷ねこクラブ	72	68
3	ねこクラブたま	44	46
4	NPO 法人 神戸猫ネット (株)フェリシモ猫部	53	57
5	猫クラブ く～にゃん	12	8
6	Cat Cafe ニャーニャの森	21	36
7	チーム命の輪	61	51
8	桜が丘ハートねこクラブ	3	0
9	神戸ノラネコ TNR 実行委員会 (株)フェリシモ猫部	20	11
10	cat cafe ねるこ	8	12
11	(株)ネスレ日本ピュリナペットケア	未実施	21
12	cat cafe ししま屋	5	12
	<u>合計</u>	502	520

平成 30 年度 寄附・募金リスト (31 年 2 月末)

受付日	寄付者氏名	寄付金額	内訳
30.4.20	中島 洋子	10,000	寄付
30.7.31	大東動物病院	2,393	募金
30.9.20	フレシモ基金	2,920,000	寄付
30.9.25	チエルシー動物病院	8,318	募金
30.9.25	モダナークファームカフェ	6,576	募金
30.9.26	神戸猫ネット	10,000	寄付
30.9.27	ペットクラブ	10,000	寄付
30.10.12	ますだ動物病院	3,066	募金
30.10.13	街頭募金	23,250	募金
30.12.26	動物管理センター	5,186	募金
31.2.23～24	ネコ市ネコ座	38,152	募金
合計		3,036,941	

平成 31 年度 事業計画案

１．地域猫活動と連携した野良猫の繁殖制限**(1) 野良猫の繁殖制限事業**

野良猫により生活環境等に問題が生じている地域において不妊去勢手術を計画的・集中的に実施していくことにより、効果的な繁殖抑制に取り組んでいく。

- ① 野良猫に関する情報をもとに獣医師等で構成された事業部会において、「野良猫繁殖制限事業選定マニュアル」で定めた選定基準に沿って審査を行い、猫の生態や行動範囲に基づき繁殖制限対策区域（以下「対策区域」という。）の設定
- ② 対策区域ごとに、地区別計画の策定
- ③ 野良猫の不妊去勢手術の実施
 - ・対策区域内で活動する地域猫活動団体が地区別計画に基づいて事前周知・野良猫捕獲・不妊去勢手術実施場所への搬入・もとの場所へのリリース等を行う場合における、不妊去勢手術の実施（約500匹）
 - ・対策区域に地域猫活動団体が存在しない場合における、構成団体及び協力者による繁殖制限事業の実施（約900匹）
- ④ TNR協力者のうちから指導者を養成し、TNR作業現場においてTNR実施者の指導を行い、本事業の円滑な推進に資する。
- ⑤ 事後の調査及び検証方法の検討

(2) 協議会が行う野良猫の繁殖制限事業にかかる協力者(協力獣医師、TNR協力者)の募集・登録**２．人と猫との共生推進事業に関する各種啓発**

- (1) 神戸市人と猫との共生に関するガイドラインの周知
- (2) 野良猫の繁殖制限事業に伴う不適正な給餌者に対する指導助言
- (3) 各種啓発イベントの主催、共催による啓発

３．猫の譲渡の推進

- (1) 市域で保護された猫の譲渡会情報の収集、発信
- (2) 猫の譲渡会場提供者の情報収集

4. その他

- (1) 定例会議、事業部会の開催
- (2) ホームページの作成および事業実施状況等の公表
- (3) 寄付金、募金集め
- (4) 神戸市への事業内容等の報告
- (5) その他神戸市との連携

平成 31 年度 事業収支予算案

(一般会計)

収入の部

平成31年 4 月 1 日～平成32年 3 月31日 (単位 : 円)

科目	予算額	平成30年度 当初予算額	摘要
1. 補助金	11,000,000	11,000,000	神戸市から「神戸市人と猫との共生推進協議会事業費」として
2. 繰越金	100,000	229,727	
3. 募金、寄付	2,110,000	100,273	
合計	13,210,000	11,330,000	

支出の部

平成31年 4 月 1 日～平成32年 3 月31日 (単位 : 円)

科目	予算額	平成30年度 当初予算額	摘要
1. 野良猫繁殖制限事業費	12,272,000	10,292,000	不妊去勢手術費用1,400匹 (地域猫約500匹、地域猫以外900匹) 現地作業等の実費弁償 (30か所 * 3名 * 3日) 印刷経費 (事前周知チラシ、猫管理票等)
2. 野良猫の給餌等に関する指導助言費	120,000	120,000	現地指導の実費弁償等 2名 * 20か所 * 3,000円
3. 猫の譲渡の推進事業費	20,000	20,000	譲渡会等の情報収集及び情報発信 (HP作成・運営費等)
4. 定例会議費	66,000	66,000	交通費実費弁償 1回平均15,000円 * 3回、 会場費 @7,000円 * 3回
5. 事務費	500,000	600,000	文具、封筒、郵送料、振込手数料、旅費、 コピーリース料・印刷費用等
6. 保険料	132,000	132,000	ボランティア保険 (500円 * 8名 = 4,000円) 情報漏えい賠償保険 (120,000円) 管理者損害賠償保険 (8,000円)
7. 予備費	100,000	100,000	
合計	13,210,000	11,330,000	

※上記のほか、協議会事務局の運営については、「神戸市人と猫との共生推進協議会事務局費」補助金 9,000,000 円を充てる。(内訳) 事務所借上費 672,000 円、光熱水費 60,000 円、通信費 250,000 円、人件費 2 名 6,978,000、社会保険料等 1,040,000 円

平成 30 年度 事業収支決算見込

協議事項（参考）

収入の部

平成30年 4 月 1 日～平成31年 3 月31日（単位：円）

科目	予算額	収入見込額	摘要
1. 補助金	11,000,000	13,000,000	神戸市から「神戸市人と猫との共生推進協議会事業費」として（当初11,000,000円、追加2,000,000円）
2. 繰越金	229,727	229,727	
3. 募金・寄付	100,273	3,110,273	(株)フェリスモ他
合計	11,330,000	16,340,000	

支出の部

平成30年 4 月 1 日～平成31年 3 月31日（単位：円）

科目	予算額	執行見込額	摘要
1. 野良猫繁殖制限事業費	10,292,000	15,520,000	不妊去勢手術費用（1880匹見込） 現地作業等の実費弁償 印刷経費（事前周知チラシ、猫管理票等）
2. 野良猫の給餌等に関する指導助言費	120,000	70,000	現地指導の実費弁償等
3. 猫の譲渡の推進事業費	20,000	15,000	譲渡会等の情報収集及び情報発信（HP作成・運営費等）
4. 定例会議費	66,000	53,000	交通費実費弁償、会場費
5. 事務費	600,000	450,000	文具、封筒、郵送料、振込手数料、旅費、コピーリース料・印刷費用等
6. 保険料	132,000	132,000	ボランティア保険、情報漏えい賠償保険、管理者損害賠償保険
7. 予備費	100,000	0	
合計	11,330,000	16,240,000	

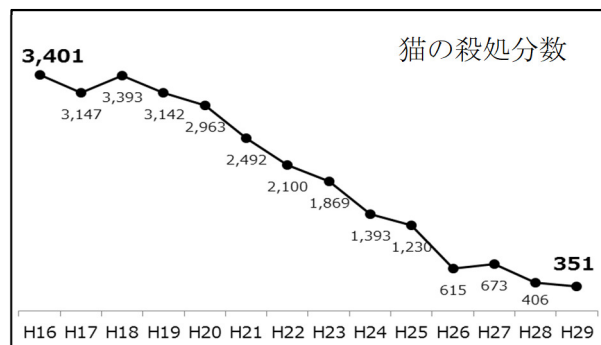
繰越金 16,340,000 - 16,240,000 = 100,000

「神戸市人と猫との共生に関する条例」の取組み状況について

平成 31 年 3 月 神戸市保健福祉局

1. はじめに

- 神戸市や飼い主、市民、NPOなどが一体となって、野良猫による苦情や猫の殺処分をなくしていくことで、人と猫が共生できるまちづくりをめざす「神戸市人と猫との共生に関する条例」が平成 29 年 4 月に施行。
- 条例に基づく「神戸市人と猫との共生推進協議会」と神戸市が協働し、野良猫をこれ以上増やさない取組み（繁殖制限事業等）や猫の譲渡などの事業を推進。



2. 活動の進捗状況

(1) 「地域猫活動」の推進

人に迷惑をかけずに一代限りの猫を見守り、不幸な野良猫をなくしていく活動。①不妊去勢手術の徹底、②適正な給餌やふん尿の後始末などによる管理、③地域の理解を得ることが必要。

平成 30 年度は 117 団体を登録した（平成 31 年 2 月末時点）。

(2) 「繁殖制限事業」の推進

寄せられた要望の必要性（苦情の有無、生息状況、地域猫活動の状況）等を検討し、対策区域を選定して不妊手術を実施。平成 29 年度は 2,051 匹、平成 30 年度は 1,638 匹の野良猫に不妊去勢手術を実施した。

地域猫活動。

H30 は **117** 団体が登

1. 不妊去勢手術の徹底
V字カット
▶ 野良猫の出生数減少↓

2. 適正な給餌や糞尿の後始末などによる管理
▶ 排泄物や食残し等の減少↓

3. 地域の理解
▶ トラブルの減少↓
コミュニケーションの向上↑

野良猫の繁殖制限事業。

1. 受付
野良猫の生息数、生活環境被害の状況、地域猫活動の状況などを考慮し、実施場所を選定

2. 場所の選定

3. 対策区域の設定
猫の行動学的知見により設定

4. TNRの計画
動物病院など関係者と事業実施日時を調整

5. 対策区域内のTNR実施

実施状況
1638 匹
(H31.2 未実績)

3. 「ふるさと納税制度」を活用した譲渡促進事業の支援（H31 年 2 月末時点）

- ㈱フェリシモと提携し、H28 年度は 463 件 857 万 6 千円、H29 年度は 666 件 1,374 万円の寄附をいただき、譲渡促進事業に充当。平成 29 年度からは協議会事業の支援にも充当。
- H30 年度は、1,500 万円を超える寄附をいただいております、譲渡前仔猫のミルクボランティア 164 匹、譲渡候補犬猫の健康管理 11 匹・不妊去勢手術 89 匹の他、協議会事業の繁殖制限にも充当する。
- これらの取組みにより、猫の譲渡数（動物管理センター）：H28 年度 161 匹⇒H29 年度 237 匹⇒H30 年度 288 匹に増加
殺処分数：同 406 匹⇒351 匹⇒220 匹 に減少。殺処分率も同 70%⇒58%⇒43.9%と着実に減少。

平成 30 年度 神戸市人と猫との共生推進協議会
第 3 回定例会議 出席者名簿

平成 31 年 3 月 15 日

○構成団体

所属	職名	氏名
公益社団法人 神戸市獣医師会	会長（協議会会長）	中島 克元
	会計理事（協議会事業部会長）	岸本 英一
	事業担当委員	橋本 裕規
NPO 法人 神戸猫ネット	理事長	杉野 千恵子
	副理事長	高野 稔
	事務局長	下村 美鈴
公益社団法人 日本動物福祉協会	顧問	山口 千津子
公益社団法人 日本愛玩動物協会	兵庫県支所 支所長（協議会監事）	河合 弥生
	会員	加藤 智子
公益社団法人 Knots	理事長（協議会監事）	富永 佳与子
	事務局長	田中 久美子
株式会社 フェリシモ	CFV 事業本部 生活雑貨事業部 猫部グループ 主席係長	松本 竜平
	同猫部グループ 主席係長	西尾 聡子
	同猫部グループ主任	豊川 沙代
ネスレ日本株式会社	ネスレ ピュリナ ペットケア マーケティング統括部デジタル&E コ マースユニット	内記 利宏
神戸市婦人団体協議会	副会長	高尾 ひろ子
欠 席		
神戸市自治会連絡協議会		
神戸市商店街連合会		
株式会社 神戸新聞社		

○規約第 5 条第 4 項に基づく出席者

神戸市	保健福祉局健康部生活衛生担当部長	藤井 俊宏
	保健福祉局健康部動物衛生担当課長	湯木 麻里

神戸市受付 4 件

No.	意見の概要	意見に対する考え方
1	P14「将来的に野良猫がいなくなり」の部分。「人と猫の共生」という観点、子供たちの情操教育の観点、愛玩動物であり、人間生活にも寄与しているという文言を盛り込んでほしい。野良猫、地域猫は一定数必要なのではと考える。	ご指摘のあった部分は、野良猫を一律に排除するという考え方ではなく、今いる不幸な野良猫を可能な限り減らしていくという観点から記述したものです。「猫がいることが自然」というご意見を否定するものではございませんので、ご理解をお願いします。
2	飼い猫の健康について ①p.5 心構えの項目に「猫の健康維持に必要な栄養を摂取できる（キャットフード）を適切な量提供できますか？」を追加してほしい。 ②p.7「遊び場」または「空調」のどちらかに「日光浴ができる場所を確保する」ことを記載してほしい。 ③p.11 健康管理の説明において、病気にしない→日々の健康チェック→診療、という順序にするため、「一方で、人と猫では食べるものが～」の部分の冒頭に移してほしい。 ④P.17 水が入ったままの容器を放置することで蚊の発生源となりうるため、「夏季には蚊の繁殖防止のため、毎日水を交換しましょう。」と記載してほしい。 ⑤p.29「(4) 食餌・給水・排せつ」「いわゆる"猫まんま"やドッグフードは栄養上不適当である」ことを記載してほしい。	①ご指摘のページは猫を飼育する際の心構えであり、紙面の都合上、内容を詳細に書くことはむずかしいため、p29「食餌・給水・排せつ」に文言を追加しました。 ②日光浴は猫にとって望ましいものの必須とはいえないため、記載は見送りました。 ③最も重要なこととしてお伝えしたい点は、まずはしっかりと日々観察し、異常があれば診療を受けることであると考えています。その上で、飼う上での注意点を補足するという構成にしたいと考えています。 ④一般的に蚊が卵から成虫になるには 10 日ほどかかると言われており、衛生的な観点からもこまめな水の交換が必要と考え、「衛生保持のためにこまめに取り替えて」という文言を追加しました。 ⑤ご指摘のとおり、人の食べ物やドッグフードを猫に与えることは不適当ですが、適切なフードを与えるよう記載していることで注意喚起も兼ねていると考えます。
3	地域猫活動を行っている。市の啓発印刷物でもエサやりを行なうものが糞の始末をするよう書いてあるが、個人の庭などまでは清掃できない。自分の庭や敷地で糞をされた場合は、快く片付けてほしい。	地域猫活動では、地域の理解のもと、野良猫の不妊去勢手術を行った上で、適正な給餌やふん尿の管理など、その野良猫の管理を地域でルールを決めて適正に行っていると考えています。 ご指摘の点も含め、猫の世話をしている人が中心となって、このガイドラインも活用しながら、地域全体で地域猫についての理解を深め、しっかりと地域のコミュニケーションをとっていただければと考えます。

4	以前から地域猫活動に興味をもち、人づてに話を聞くことがあったが、人それぞれ考え方が異なり分からないことが多かった。 切実に思うこととして、猫のシェルターのようなものがほしい。特に冬場の寒さがかわいそうなため、猫達のそのような場所ができればいいと思う。	野良猫やその管理に対する考えは様々です。そのため、本ガイドラインによって一定の考えを示したいと考えています。 シェルターについては、各地から猫を多数集めることによるストレスや感染症のリスクなど、様々な課題があることからただちに設置するということは難しいと考えます。そのため、不幸な野良猫を減らすために今できることとして、協議会と神戸市や愛護団体が協力して譲渡の推進や繁殖制限に取り組んでいきたいと考えます。
---	---	---

協議会受付 8 件

No.	意見の概要	意見に対する考え方
1	有償サポートを無償にしてほしい。看板に「餌を与えるな」と表示するのではなく、「猫を捨てるな」と書いてほしい。	地域猫活動で最も負担が大きい不妊去勢手術費用については全額協議会の負担でしていますので、捕獲、搬送、リリースといった作業については活動団体をお願いしています。また、このような作業が活動団体だけでできない場合に、有償サポートを紹介することとしています。市民の皆様のご協力をいただきながら事業を進めておりますので、ご理解とご協力をお願いします。 啓発看板の表現につきましては、神戸市に確認しましたところ、無責任な餌やり行動について注意喚起を行っているとのこと。また、看板には動物を捨てる行為（遺棄）が犯罪であることも併せて明記しているとのこと。
2	p.30 猫免疫不全ウイルス感染症（FIV）について、予防ワクチンはあるので、ワクチンでの予防はできないとの明記は避けた方がいい。	ご指摘のとおり「ワクチンでの予防はできません。」を削除します。
3	TNR 活動、譲渡会会場の提供、シェルターの設立といったシステムづくりの検討してほしい。動物管理センターにシェルターの役割を持たせること。市役所、協議会で地域ごとに地域猫の説明会をしてほしい。多頭崩壊にならないための検討をしてほしい。悪質販売業者の監視、将来的には生体販売の廃止してほしい。	現在、協議会では、野良猫の不妊去勢手術（TNR）や譲渡の推進を中心に事業を実施しています。協議会における譲渡会会場の提供やシェルターの設立については、様々な課題があることからただちに実施することは難しいと考えますが、犬猫の譲渡活動を行っている団体の方々と連携しながら譲渡を進めていきたいと考えます。 なお、神戸市動物管理センターについては、猫舎を増設したり、獣医療施設を設置するなど譲渡機能の強化に努めていると神戸市より聞いています。また、地域猫の説明会については、神戸市に「出前トーク」という制度があり、神戸市職員が希望する地域や団体に出向き話をしています（ガイドライン（案）P20 に記載しています）。 また、動物の多頭崩壊や販売業者の監視等の規制については法令等に基づき神戸市が対応していくこととなりますので、このようなご意見があったことを、神戸市に伝えます。

4	地域の小学校内にある地域福祉センターで譲渡会ができるようにしてほしい。また、協議会としても会場提供に協力してほしい。	協議会では、各団体の譲渡会情報をホームページでお知らせするとともに、会場提供についても協力を呼び掛けています。ただし、不特定多数の方が集まる公共的な場所での譲渡会の開催については、猫に対するアレルギーなどの問題もあり難しいのが現状です。
5	譲渡会の流れについて NPO 法人神戸猫ネットの譲渡会を参考にしているが、変更前の流れなので変更後の流れに変更してほしい。	ご指摘のとおり、現在の NPO 法人神戸猫ネットの譲渡の流れに変更します。
6	手術費用全額負担の制度をもっと広報してほしい。	協議会では、様々なイベントの参加やホームページ、SNS 等の広報媒体を用いて事業を広報しています。また、神戸市においても、ホームページや広報紙を用いたり、市民が集う諸会合等を通じてお知らせをしています。今後とも、あらゆる機会を通じて PR に努めていきます。
7	地域猫活動により近隣住民との交流が増え、環境が良くなった。	協議会事業にご理解をいただき、また過大な評価をいただきありがとうございます。今後も人と猫が共生できる街神戸をめざしてしっかりと事業を進めていきます。
8	ガイドラインが市内のみならず全国で参考にされるようになればいい。適切な数の外猫が迷惑と思われず平和に暮らしている街の実現を望む。関係者だけでなく広く市民の目に触れるようになればいい。	ガイドラインは、協議会や神戸市のホームページへの掲載、SNS の活用による情報発信や、区役所や保健所での閲覧及び配布、動物病院、ペットショップ、地域猫活動団体、協議会構成団体、警察署への配布に加え、ポイントを分かりやすくした概要版を作成するなどにより、広く周知します。また、国・他府県市にも参考送付します。